



絆 子供の未来のために

〒889-0101 延岡市北川町川内名7232番地11 Eメール mkkita@lime.ocn.ne.jp

Tel. 0982-46-5019 fax 46-3203 URL <http://北林幹雄.net/>

この通信は随時発刊です。皆様にお伝えしたい事実や私の思いを記させていただきます。宜しくお願いします。



秋冷の候、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。「北林みきお後援会」の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。市議会議員として議会に送って頂き半年が過ぎました。この間、6月議会、9月議会において、一般質問をさせていただきましたのでご報告申し上げます。

9月議会の一般質問と当局の答弁概要

力を固有の地域資源とし
を図っていくことにして
に適した「薬草の産地化」
携により、それぞれの地域
九州保健福祉大学との連
も出てきており、さらには、
農業など新たな取り組み
都市部との交流や体験型
また、六次産業化に加え、
が期待される場所です。
り、今後、木材需要の拡大
研究開発が進められてお
業や、CITR(直交集成材)工
法など、新たな建築資材の
とすべきではないか。
として、バイオマス発電事
業や、CITR(直交集成材)工
法など、新たな建築資材の
研究開発が進められてお
り、今後、木材需要の拡大
が期待される場所です。
また、六次産業化に加え、
都市部との交流や体験型
農業など新たな取り組み
も出てきており、さらには、
九州保健福祉大学との連
携により、それぞれの地域
に適した「薬草の産地化」
を図っていくことにして
おります。三北地域の潜在

三北総合支所を森林 資源開発拠点とせよ

問 広大な森林資源を有する三北地域は、資源の宝庫であり、ここをニューフロンティア(新規開拓地)として位置づけ、現在の総合支所を、開発の戦略拠点とすべきではないか。

答 現在、新たな成長分野として、バイオマス発電事業や、CITR(直交集成材)工法など、新たな建築資材の研究開発が進められており、今後、木材需要の拡大が期待される場所です。また、六次産業化に加え、都市部との交流や体験型農業など新たな取り組みも出てきており、さらには、九州保健福祉大学との連携により、それぞれの地域に適した「薬草の産地化」を図っていくことにしております。三北地域の潜在力を固有の地域資源とし

問 十分に活用し、新たな産業育成や雇用の創出にっなげたいと思います。

問 三北支所はマンパワーが必要。十分な人員配置や権限を考慮すべき。

答 農林水産業の振興、災害発生時の迅速な対応や地域の安心安全に配慮した組織体制の構築を検討し、三北の皆様が、安心して行政サービスを受けられるようにしたい。

※五階建ての総合支所はこれからの北川の開発拠点となるだろう。



子供の未来

「若竹の伸びゆくごとく子ども等よ真直ぐにのばせ身をたましひを」(牧水)子どもに恵まれた牧水は家庭を愛し、子どもたちのすくすく伸びゆくことを何よりも願った。子供は昔から宝だった。山上憶良も「白銀も黄金も玉も何せむに、まされる宝、子にしかめやも」と歌っている。金銀財宝など子供に比べる事などできない。何と愛らしい事か、という歌である。子どもが次々と誕生し、すくすく伸びる社会こそ最も幸せな社会だ。安倍首相も新三本の矢の一つに「子育て」を掲げている。これから先、政府の子育て政策が大きく前進することを願ってやまない。地域社会の未来への希望である。子育ての充実を願いつつ。

北川町曾立の内水対策の 責任の明確化と最善策を問う

対策責任は県と市、対策窓口は北川町総合支所建設課

と説明責任はどこにあるのか。

答 県により実施されましたフロートゲート設置後の冠水については、すぐに県に報告を行ったところですが、今後、県と連携を図りながら、検討したいと思います。議員お尋ねの工事の説明責任は事業主体にあり、対策責任は県と市双方にあります。なお、対策窓口は北川総合支所建設課でございます。

問 フロートゲートへの不安の声が上がっているが、内水対策の最善策は何かを伺いたい。

答 内水対策としましては、ポンプ場設置や曾立谷川の分流化、浸水個所の嵩上げ等が考えられます。これらの方法を地形的条件、建設費用、効果等の面から総合的に検討したいと存じます。市としましては、ポンプ場設置が最も効果のある方法と考えておりますが、県と連携を図り、

問 北川町曾立地区の内水対策は長年の課題となっている。平成25年にフロートゲートが設置されたが、昨年の台風時に冠水した。この問題の対策責任

検討して参りたいと思えます。

再質問 大きな被害が出た後では遅いので、なるべく早く、実施の検討に入って頂きたいと思えます。

答 鋭意努力して参りたいと存じております。



こどもの城(仮称)のコンセプトとは何か

問 6月議会にて子育て支援の拠点として「(仮称)こどもの城」の具体的検討を進めるとのお答えがあったが、その基本的なコンセプトをお示し頂きたい。

答 現在策定を進めておりますことは、育児相談や一時預かりの機能、発達に関する相談や疑い等を早期発見する機能、及び、体験・教育・遊び場・交流機能など、子育てに関する幅広い総合的な機能を持たせたいと考えております。その整備のために、関係団体の皆様からのご意見等も頂きながら、様々な観点から検討を進めたいと思っております。

答 現在策定を進めておりますことは、育児相談や一時預かりの機能、発達に関する相談や疑い等を早期発見する機能、及び、体験・教育・遊び場・交流機能など、子育てに関する幅広い総合的な機能を持た

「青春駅まちエリア」

現在、延岡駅のリニューアルが進んでいる。ここに四十五億円もの資金を投ずる以上、その成功を期してもらいたい。そこで、同エリアを「青春駅まちエリア」としてシンボライズする事を提案する。①青春とは、年齢を指すのではなく、青春の情熱を感じられるエリアにするという事だ。高齢者や壮年層もまた、青春の感動を蘇らせたらい。②「青春」のような、それに伴う先端的なネット環境を整備する事で、同エリアへの話題性を高め集客力をアップする。また、③今山八幡、今山大師、恵比寿神社等々と地域の商店街・企業を結びイベントを若い世代が創出してゆく仕組みを作り、④①②③ その他のプランを複合施設とリンクさせながら、同施設建設推進段階から、完成、その後も、協議を進め、進化発展させる事を提案する。



「(仮称)延岡新時代創生総合戦略」

延岡市への移住定住者

促進施策について

問 まず、延岡市への移住定住者数の年次達成目標数をお伺いしたい。また、情報・施策の一元化と専門窓口の設置、都市部への情報発信方法と雇用環境を含めた本市への移住定住のメリットなどの戦略をお伺いしたい。

答 移住定住目標数は、平成三十二年までに一〇〇名を受け入れる事を目標にしております。また、この目標実現に向け、移住専用のホームページを立ち上げ、宮崎県が東京有楽町に開設しております「宮崎ひなた暮らしUI Jセンター」と連携し、本市の魅力を発信していくことにいたしております。また、住宅を取得する際

所管する部署の設置につきましても検討してまいります。



「婚活」支援の具体策とは何か

問 総合戦略の中に「婚活」支援があつたが、具体的にはどのような支援があるのか。婚活推進団体などのような支援を考えているのか。

答 「のべおかぐるコン」では、当日は男女三六〇人が参加し、そのうち二十七組のカップルが誕生して、一定の効果があがつてい

るようです。今後、民間団体が実施する効果的な婚活イベントなどの事業に対し、その経費の一部を助成するなどの支援を行うことで、独身男女の出会い場の増加を図ってまいります。また、本年十月には、延岡商工会館に結婚を前提とする男女に対して個別

の出会いをサポートする「みやざき結婚サポートセンター」設置されると伺っており、本市として連携できる取り組みについて検討して参りたいと思っております。

併せて「(仮称)こどもの城」の整備や仕事と育児の両立支援など、結婚、出産、子育てを支援する各種施策にしっかり取り組み、婚姻数の増加や出生率の向上につなげて参りたいと考えています。

再質問 乳幼児を抱えている女性、お母さん方は、それだけで、就職活動が困難な方もおられます。企業等職場の立場に立てば、理解も出来ませんが、女性の働く環境を支援するため、企業に協力を求める事も重要かと存じますがいかがでしょうか。

答 女性の働く環境や子育て環境を整備することは重要なことですので、努力して参ります。

保育士不足の対策は？

問 来年度より九州保健福祉大学の保育学科の募集が停止されます。現在、延岡市においても、保育士不足が課題となつているがその対策は

答 昨年度より「おやこの森」で、保育士養成講座や保育士試験に対する準備講座などを実施して頂いているが、今後は、潜在的な保育士等の掘り起こしや福祉職を対象とした就職説明会の実施など、保育士・幼稚園教諭の養成・確保に向けて研究を進めて参りたいと考えているところでございます。



延岡市二十七年 度補正予算承認

平成二十七年年度補正予算が九月議会で承認されました。その概要は左記のとおりです。補正総額は六億千八百八十七万七千円で、内訳概要は、

- ① マイナンバー制度導入のための国県からの交付金四千九百万円。
- ② 本市への移住希望者への情報発信としてのホームページ作成と実態調査の実施に二百五十万円(一般財源)
- ③ 九保大の薬草等産地確立事業に五百万円(一般財源)
- ④ 延岡学園生徒寮建設補助に一千万円
- ⑤ エンジン〇一への助成約九百二十万円

※国県への償還金が四億円弱あります。

賑わった「まつり延岡」

神輿の声も勇ましく



平成二十七年七月二十六日、「まつり延岡」が開催された。今山八幡宮と春日神社からの「出会い神輿」が中央通りで渦を巻く。延岡ここにありという感慨で一杯となりました。同じ場所での「ばんば踊りも」賑わいました。

地方自治の

議員研修に参加

平成二十七年八月二十一日。東京医科歯科大学を臨む研修所にて、議会活動のありかたについて研修があった。中央大学の佐々木教授の講義では、市長と議会という二元代表制の地方議会だが、議院内閣制のように議員が行政に対する権限と責任を有するよくな改革があっても良いのではないか、との指摘があった。



延岡城址遺構

現在、延岡市役所低層棟が建設されている地層から、写真のような遺構が発見されました。左の写真は武家屋敷と町人の住まいを隔てる外堀の町人側取り付けられていた階段で、人々はその水を利用していたようです。



下の写真は、井戸の遺構で、石積みによって側面が固められていることが分かります。それなりの深さがありました。貴重な資料だと思います。

平成二十七年

八月六日撮影



現在、延岡市では、名城と呼ばれた延岡城の面影を再現しようと、城山が樹木で覆われているので、これを伐採し、城の石垣を露出させ、その上に三階楼と呼ばれる天守閣のような建物の再建を構想しているようです。延岡七万石の風景が現れる事が楽しみです。

